



2024年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年3月13日

上場会社名 グローバルスタイル株式会社 上場取引所 東
コード番号 7126 URL <https://www.global-style.jp/corporate/company/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田城 弘志
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 名本 育広 TEL 06-6206-2711
四半期報告書提出予定日 2024年3月13日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年7月期第2四半期の業績（2023年8月1日～2024年1月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期第2四半期	5,113	9.3	107	△32.7	131	△26.2	80	△51.4
2023年7月期第2四半期	4,676	7.2	159	△32.4	177	△25.5	165	12.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年7月期第2四半期	24.96	24.00
2023年7月期第2四半期	53.00	50.02

(注) 当社は、2023年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年7月期第2四半期	8,463	2,069	24.5
2023年7月期	7,323	2,064	28.2

(参考) 自己資本 2024年7月期第2四半期 2,069百万円 2023年7月期 2,064百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年7月期	-	0.00	-	30.00	30.00
2024年7月期	-	0.00	-	-	-
2024年7月期（予想）	-	-	-	-	-

(注) 1 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定です。

3. 2024年7月期の業績予想（2023年8月1日～2024年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,183	17.1	744	12.8	776	12.6	530	12.0	165.18

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年7月期2Q	3,502,744株	2023年7月期	3,502,744株
② 期末自己株式数	2024年7月期2Q	274,997株	2023年7月期	294,169株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年7月期2Q	3,216,468株	2023年7月期2Q	3,113,716株

(注) 当社は、2023年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会に関する説明)

本四半期決算短信の開示日時点においては、2024年3月26日（火）に機関投資家・アナリスト向け四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する四半期決算説明資料等は、当社のウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の収束により、インバウンド需要が回復するなど社会経済活動の正常化が一層進んだことで、景気は緩やかな回復基調となりました。一方で、エネルギー価格や原材料価格の高止まり、円安による物価上昇など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社が属するオーダースーツ業界におきましても、原材料価格の高騰や円安の影響による仕入原価の上昇など、厳しい事業環境が続いております。

このような状況の下、当社におきましては、「Enjoy Order すべてのお客様にオーダーメイドを楽しんでいただく」のコンセプトのもと、新規出店や商品ラインナップの強化に取り組んでまいりました。

まず、当第2四半期累計期間における新規出店といたしましては、10月に大阪なんばエリア2店舗目となる「MARUNOUCHI Global Style なんばパークス店」、奈良県初出店となる「GINZA Global Style COMFORT ならファミリー近鉄奈良店」、新業態として初出店となる「GINZA Global Style PREMIUM 銀座本店」を出店し、11月には東京都立川市に「GINZA Global Style COMFORT 立川高島屋S.C.店」を出店いたしました。当該4店舗にはオープンより多くのお客様にご来店いただいております。当初計画を上回る3億50百万円を受注するなど順調なスタートを切ることができております。

上記新規出店を含め、当第2四半期累計期間末の店舗数は39店舗となりました。

また、新たな商品展開といたしましては、新業態である「GINZA Global Style PREMIUM」でオーダー可能なセミハンドメイドのプレミアムオーダー「Heritage j 2.0」やスペインの人気ドレスシューズブランドである「Berwick 1707」の販売を開始し、新たな顧客層の開拓に取り組んでおります。

以上のような取り組みの結果、売上高につきましては、51億13百万円（前年同期比9.3%増）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、新規出店に伴い地代家賃や広告宣伝費等が増加したことから26億55百万円（前年同期比13.7%増）となりました。

利益面につきましては、営業利益1億7百万円（前年同期比32.7%減）、経常利益1億31百万円（前年同期比26.2%減）、四半期純利益80百万円（前年同期比51.4%減）となりました。

当社はオーダースーツの販売店舗を運営する事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ11億40百万円増加し、84億63百万円となりました。流動資産につきましては、前事業年度末に比べ9億35百万円増加して、48億83百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金が86百万円、受取手形及び売掛金が2億41百万円、原材料及び貯蔵品が5億28百万円、仕掛品が71百万円増加したことによるものであります。また、固定資産につきましては、新規出店により前事業年度末に比べ2億4百万円増加し、35億79百万円となりました。

(負債)

負債につきましては、前事業年度末に比べ11億35百万円増加し、63億93百万円となりました。

流動負債につきましては、前事業年度末に比べ11億28百万円増加し、48億円となりました。主な変動要因は、短期借入金が5億円、前受金が5億93百万円増加したことによるものであります。また、固定負債につきましては、前事業年度末に比べ6百万円増加し、15億93百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金が64百万円増加したものの、その他固定負債が40百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前事業年度末に比べ4百万円増加し、20億69百万円となりました。主な変動要因は、前期の期末配当96百万円を実施した一方で、新株予約権の行使に伴う自己株式の処分等により自己株式が9百万円減少し、資本剰余金が10百万円増加したことに加えて、四半期純利益80百万円を計上したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ86百万円増加し、11億93百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は92百万円（前年同四半期は2億38百万円の収入）となりました。これは、主に税引前四半期純利益1億31百万円、減価償却費1億13百万円、前渡金の減少額1億47百万円、前受金の増加額5億71百万円があったものの、売上債権の増加額2億41百万円、棚卸資産の増加額6億68百万円、法人税等の支払額1億7百万円等の要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2億70百万円（前年同四半期は3億93百万円の支出）となりました。これは、主に投資不動産の賃貸による収入40百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出2億68百万円、敷金の差入による支出34百万円等の要因によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は4億48百万円（前年同四半期は86百万円の収入）となりました。これは、主に短期借入金の純増加額5億円、長期借入れによる収入1億92百万円があったものの、長期借入金の返済による支出67百万円、社債の償還による支出30百万円、リース債務の返済による支出52百万円、配当金の支払額95百万円等の要因によるものであります。

（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年7月期通期の業績予想につきましては、2023年9月14日の「2023年7月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年7月31日)	当第2四半期会計期間 (2024年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,107,230	1,193,453
受取手形及び売掛金	305,313	546,380
商品及び製品	151,557	219,626
仕掛品	62,652	134,236
原材料及び貯蔵品	2,081,599	2,610,027
その他	250,879	193,140
貸倒引当金	△10,384	△12,967
流動資産合計	3,948,848	4,883,897
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,502,483	1,606,630
その他（純額）	926,973	997,446
有形固定資産合計	2,429,457	2,604,076
無形固定資産	108,393	106,186
投資その他の資産	836,407	868,974
固定資産合計	3,374,257	3,579,237
資産合計	7,323,106	8,463,135
負債の部		
流動負債		
買掛金	425,511	474,773
短期借入金	1,900,000	2,400,000
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	133,725	193,364
未払法人税等	107,723	49,251
契約負債	180,099	192,760
前受金	483,242	1,077,054
賞与引当金	-	7,806
役員賞与引当金	25,000	-
その他	356,563	345,179
流動負債合計	3,671,865	4,800,189
固定負債		
社債	110,000	80,000
長期借入金	962,006	1,026,381
退職給付引当金	59,324	53,704
資産除去債務	210,951	228,988
その他	244,033	203,971
固定負債合計	1,586,315	1,593,045
負債合計	5,258,180	6,393,235
純資産の部		
株主資本		
資本金	80,000	80,000
資本剰余金	124,420	135,410
利益剰余金	2,007,734	1,991,744
自己株式	△147,229	△137,664
株主資本合計	2,064,925	2,069,490
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	-	409
評価・換算差額等合計	-	409
純資産合計	2,064,925	2,069,899
負債純資産合計	7,323,106	8,463,135

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年8月1日 至2023年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自2023年8月1日 至2024年1月31日)
売上高	4,676,338	5,113,229
売上原価	2,181,153	2,350,473
売上総利益	2,495,185	2,762,756
販売費及び一般管理費	2,335,533	2,655,337
営業利益	159,651	107,418
営業外収益		
受取利息	9	7
受取配当金	76	76
為替差益	409	186
賃貸料収入	39,255	40,755
物品売却収入	6,043	5,879
その他	2,230	4,657
営業外収益合計	48,023	51,563
営業外費用		
支払利息	13,990	11,451
賃貸収入原価	11,512	12,310
物品購入費用	3,357	3,220
その他	894	738
営業外費用合計	29,755	27,720
経常利益	177,919	131,261
特別損失		
固定資産除却損	12,740	-
事務所移転費用	3,863	-
特別損失合計	16,603	-
税引前四半期純利益	161,315	131,261
法人税、住民税及び事業税	47,854	49,267
法人税等調整額	△51,568	1,726
法人税等合計	△3,714	50,994
四半期純利益	165,029	80,267

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年8月1日 至2023年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自2023年8月1日 至2024年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	161,315	131,261
減価償却費	118,935	113,283
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,136	2,583
受取利息及び受取配当金	△85	△83
支払利息	13,990	11,451
固定資産除却損	12,740	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△161,466	△241,066
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△440,941	△668,081
前渡金の増減額 (△は増加)	-	147,916
仕入債務の増減額 (△は減少)	69,665	49,262
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△24,226	△3,397
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△37,621	△46,046
前受金の増減額 (△は減少)	722,393	571,737
その他	△42,536	△41,728
小計	394,299	27,091
利息及び配当金の受取額	85	83
利息の支払額	△16,055	△11,617
移転費用の支払額	△3,863	-
法人税等の支払額	△135,536	△107,739
営業活動によるキャッシュ・フロー	238,929	△92,181
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△313,125	△268,099
無形固定資産の取得による支出	△10,753	△3,458
敷金の差入による支出	△98,123	△34,833
投資不動産の賃貸による収入	39,677	40,714
投資不動産の賃貸による支出	△4,528	△5,250
その他	△6,301	467
投資活動によるキャッシュ・フロー	△393,154	△270,459
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	300,000	500,000
長期借入れによる収入	45,000	192,000
長期借入金の返済による支出	△107,814	△67,986
社債の償還による支出	△30,000	△30,000
リース債務の返済による支出	△73,935	△52,175
自己株式の処分による収入	17,088	1,879
配当金の支払額	△63,669	△95,075
その他	△99	△44
財務活動によるキャッシュ・フロー	86,569	448,597
現金及び現金同等物に係る換算差額	405	266
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△67,249	86,222
現金及び現金同等物の期首残高	1,336,983	1,107,230
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,269,733	1,193,453

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

当社は、オーダースーツの販売店舗を運営する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。